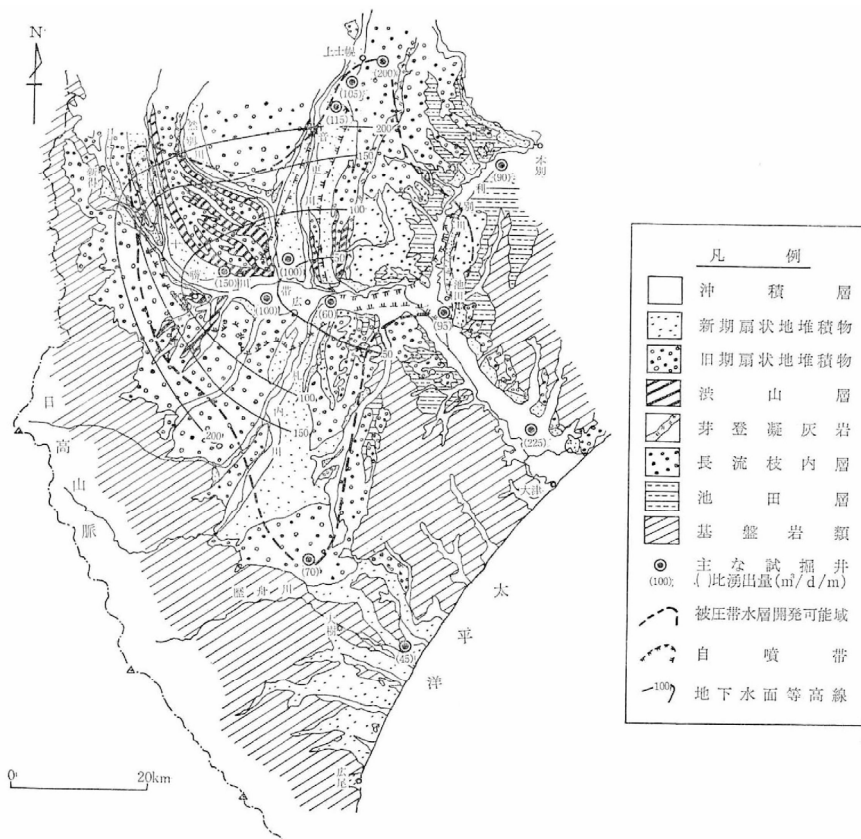


地形・地質

十勝平野は北を然別火山，東を白糠丘陵，南は豊頃丘陵と太平洋，西は日高山脈に囲まれた広さ 3600km² の広大な構造盆地で、地形的特徴は幾重にもわたって発達する台地地形に代表されます。



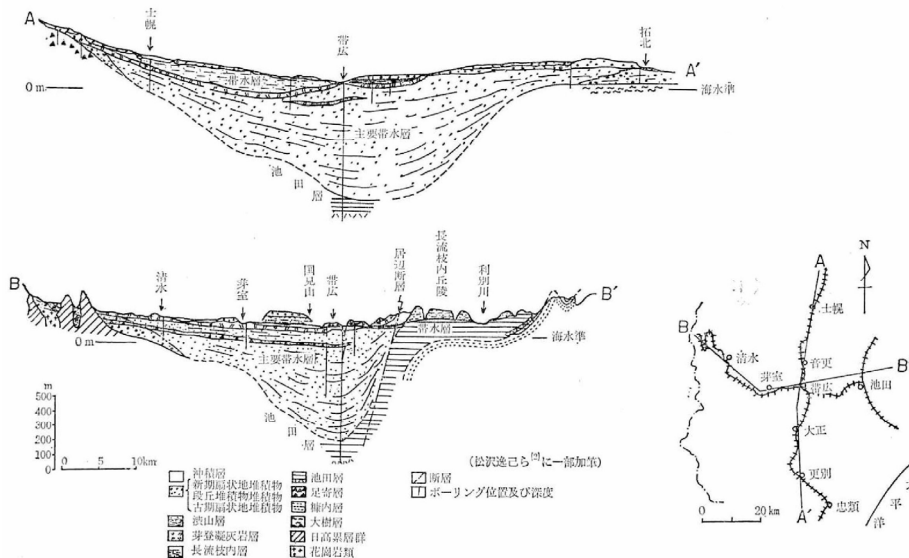
十勝平野の水文地質図

地下水

平野に分布する主要な帯水層は、長流枝内層および芽登凝灰岩層を含む渋山層で、これらの帯水層に分布する地下水のほとんどが被圧しています。地下水盆は平野に分布する十勝川、音更川、札内川流域を軸とした南北に長い楕円状となっています。

十勝平野の水文地質層序表

地質時代	地層名	岩相岩質	層厚 (m)	水文地質的特徴			
				透水性	帯水層の規模	比湧出量 (m ³ /d/m)	水質
完新世	沖積層 現河床堆積物 中札内面堆積物	粘土, 砂礫, 火山灰	~20	良好	札内川, 十勝川下流域を除き小規模		
	後期 段丘堆積物 新期扇状地堆積物	粘土, 砂礫 粘土, 砂礫	1~2 5~30	良好 良好			
新世	中期 段丘堆積物 旧期扇状地堆積物	白色粘土, 砂礫 風化礫, 粘土	1~3 10~90	難透水 難透水			
	鮮新世	前期 十勝 渋山層	凝灰質砂, シルト, 礫, 亜炭	20~100	良好	大規模な被圧帯水層	10~150
累層群 芽登凝灰岩層		軽石流, 一部溶結	20±	溶結相不透水	20~250		良好
長流枝内層		シルト, 砂, 砂礫, 亜炭	~700以上	良好	20~160		色度大
池田層		凝灰質砂岩, 泥岩, 亜炭	~300	良好			
中新世	大樹層群	シルト岩, 砂岩, 礫岩		不透水	不透水性基盤		



十勝平野の水文地質断面図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）